情報セキュリティ基本方針

第一大宮株式会社（以下「当社」）は、プラスチック段ボールをはじめとする樹脂製物流・包装資材の製造・販売を通じて、お客様のニーズに応える製品・サービスを提供しています。当社は、お客様・お取引先からお預かりする情報、製品図面や仕様、見積・受発注・製造・品質に関する情報、個人情報等を重要な情報資産と認識し、その機密性・完全性・可用性を守るため、以下の方針に基づいて情報セキュリティの確保に取り組みます。

1. 経営者の責任

代表取締役社長の責任のもと、情報セキュリティを重要な経営課題として位置づけ、必要な体制の整備と対策の推進に取り組みます。

2. 情報セキュリティ管理体制

情報セキュリティに関する責任者を定め、役員・従業員の役割を明確にするとともに、情報資産の管理に必要な社内ルールを整備・運用します。

3. 情報資産の適切な保護

情報資産を適切に把握し、アクセス権限の管理、機器・ソフトウェアの更新、マルウェア対策、データのバックアップ、書類や端末の適切な保管等、リスクに応じた対策を実施します。

4. 従業員への教育・周知

役員・従業員に本方針と社内ルールを周知し、情報の適切な取扱いやセキュリティ上の脅威について、継続的な教育と注意喚起を行います。

5. 法令・契約等の遵守

個人情報保護法その他の情報セキュリティに関する法令・ガイドラインおよびお客様・お取引先との契約上の義務を遵守します。

6. 事故発生時の対応

情報漏えい、紛失、改ざん、不正アクセス等の事故またはそのおそれを把握した場合は、速やかに対応し、被害拡大の防止、原因究明、必要な連絡および再発防止に努めます。

7. 継続的な点検と改善

情報セキュリティの自己診断やリスクの変化を踏まえ、対策と運用状況を定期的に点検・見直し、情報資産の保全と事業継続力の向上に努めます。

制定日：２０２６年１０月２２日

第一大宮株式会社

代表取締役社長　松岡 貴峰